

心ある医療

私たちは、地域住民に密着した心ある医療を提供します。



令和6年5月更新

病院名	福島県立宮下病院
病院長	横山 秀二
所在地	〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字水尻1150番地
電話	0241-52-2321
FAX	0241-52-3133
メール	miyashita.byouin@pref.fukushima.lg.jp
ホームページ	http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/25180a/

(院長あいさつ)



福島県立宮下病院
院長 横山 秀二

宮下病院は、昭和26年11月に県立病院として開院し、昭和44年12月に現在の地に移転しましたが、開院から70年以上に渡った現在に至るまで、地域の皆様より多くのご支援ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

現在、当院の診療科は、内科・外科・耳鼻咽喉科を軸とし、さらに他病院からの応援医師により、整形外科、精神科（心身医療・もの忘れ外来）、皮膚科などの専門的な診断治療に対応できる診療体制を整えております。また、平成29年より「愛ばんしょ外来」を開設し、病気や治療に関する相談など、地域の皆様の在宅療養生活を支援しております。さらに、令和6年4月より奥会津在宅医療センターを当院の在宅診療部門として正式に設置し、各町村の地域包括支援センターとの連携を深め、医療の面から在宅での療養生活を支援してまいります。

また、当院は三島町を拠点とし、金山町、昭和村、柳津町の3町村を加えた幅広い診療圏を担っており、これは東京都23区にほぼ匹敵する広さに相当します。そのような環境の中、さらに奥深い地域にある医療機関や介護保健施設への診療支援を行いながら、日頃より会津若松市内の各病院と連携・協力を図り、皆様が安心して適切な医療を受けられるよう日々心がけております。

2025年には、国民の4人に1人が75歳以上という超高齢社会に突入します。当院は、福島県内で最も高齢化率が高い診療圏の中核病院として、当院の基本理念である「心ある医療」を胸に、地域の皆さまにとって健康寿命の延伸に貢献できる医療機関を目指し、皆さまとともに築いて参りたいと思います。

今後ともご指導ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(基本理念)

私たちは、地域住民に密着した心ある医療を提供します。

(宮下病院基本方針)

- 1 患者の皆様及び全ての職員が、お互いの存在を認め合うことを基本とします。
- 2 地域の医療ニーズに迅速かつ柔軟に対応しながら、患者の皆様の立場を尊重した質の高い医療サービスを提供します。
- 3 安全で安心な医療を提供し、信頼される病院を築くとともに、患者サービスの向上を図ります。
- 4 へき地医療拠点病院として、地域の保健、医療、福祉等関係機関との連携を一層強化するとともに、診療圏内のへき地診療所に対し診療応援を行います。
- 5 地域の病院、診療所等と適切な役割分担を図ることにより、質の高い医療を提供します。
- 6 地域に親しまれる病院を目指し、地域の方々との交流・連携を積極的に行います。
- 7 職員が専門職としての誇りと自覚を持って生き生きとして働けるとともに、成長し喜びを感じられる組織風土をつくります。
- 8 経営基盤の確立に向けた取り組みを強化し、一般会計からの繰入金金の適正化を図ります。

(病院の概要 1)

■ 許可病床数

一般病床（内科） 32床

■ 外来診療科目

内科（毎週月～金曜日）
耳鼻いんこう科（月・火・金曜日午前）
外科（随時・第4金曜日午前）
皮膚科（第1・3木曜日午前）

整形外科（毎週水曜 午前）
※第5水曜は休診

精神科（第1, 2, 3火曜午前、第4木曜午前）
（心身医療・もの忘れ外来）

※精神科は完全予約制

■ 外来受付・診療時間

診療科	受付時間		診療時間	
	午前診療分	午後診療分	午前診療分	午後診療分
内科	8:30～11:30	12:00～16:00	9:00～	14:00～
耳鼻いんこう科	8:30～11:30	(診療なし)	9:00～	(診療なし)
外科	8:30～11:30	(診療なし)	9:00～	(診療なし)
整形外科	8:30～11:30	(診療なし)	9:00～	(診療なし)
精神科 (心身医療・もの忘れ外来)	8:30～11:30	(診療なし)	9:00～	(診療なし)
皮膚科	8:30～11:30	(診療なし)	9:00～	(診療なし)

■ 休診日（救急対応）

土曜日、日曜日、祝日は休診日とさせていただいておりますが、必ず医師が当直しておりますので、昼夜を問わず救急対応いたします。

■ 健康診断

生活習慣病等の一般健康診断や、日帰りの人間ドックを実施しております。

■ 臨床研修、学生研修

初期臨床研修の協力病院になっており、地域医療研修を受け入れております。また、医科大学生、看護学生の研修にも対応しております。

■ 医療相談

医療費のお支払い、公費負担医療制度利用など、医療全般に関する相談について、相談を受け付けております。詳しくは事務部（電話0241-52-2321）までお問い合わせ下さい。

■ 栄養指導

患者様の病態に応じて、必要と認められる場合には、食事の摂り方について、管理栄養士が栄養指導を実施しております。

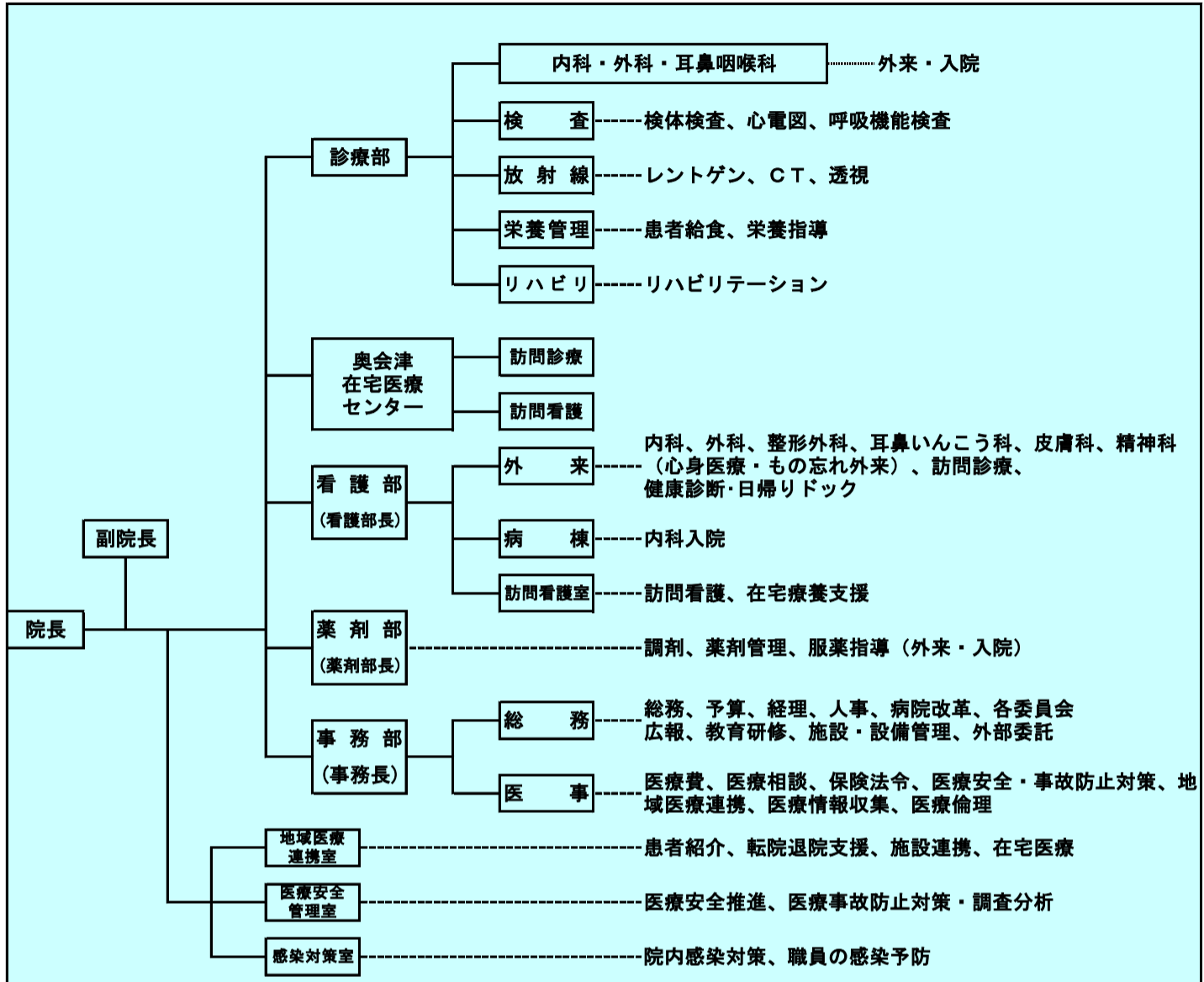
■ リハビリテーション

病気やケガ、手術後の歩行機能の回復、高齢に伴う痛みの緩和など、理学療法士がリハビリ指導を行っております。

(病院の概要 2)

■ 職員数 54名（令和6年4月1日現在）会計年度任用職員を含む。

■ 病院の組織図



■ 東北厚生局への届出事項

○入院料等

急性期一般入院料6、診療録管理体制加算2、重症者等療養環境特別加算（個室）、医療安全対策加算2、後発医薬品使用体制加算1、データ提出加算1（許可病床数200床未満）認知症ケア加算3、入院時食事療養（Ⅰ）、せん妄ハイリスク患者ケア加算、感染対策向上加算3、情報通信機器を用いた診療に係る基準、酸素の購入単価在宅時医学総合管理料及び施設入居時医学総合管理料、在宅療養支援病院、在宅がん医療総合診療料

○指導管理等

薬剤管理指導料、がん治療連携指導料、在宅患者訪問褥瘡管理指導料、運動器リハビリテーション（Ⅲ）、呼吸器リハビリテーション（Ⅱ）

○検査等

コンピューター断層撮影（CT撮影）、遠隔画像診断（送信側）、検体検査管理加算（Ⅰ）

○処置等

胃瘻造設術、胃瘻造設時嚥下機能評価加算

■ 患者数の動向

年度・入院/外来別		28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
入院	延患者数	4,976	4,684	3,726	3,448	2,036	2,094	2,073	1,587
	1日平均患者数	13.6	12.8	10.2	9.4	5.6	5.7	5.7	4.3
外来	延患者数	14,081	14,122	14,411	13,355	11,990	18,036	17,412	16,764
	1日平均患者数	57.9	57.9	59.1	55.9	49.3	74.5	71.7	69.0

(部局紹介：常勤医師)

耳鼻いんこう科



横山 秀二 (よこやま しゅうじ)

【職名】 院長
【専門分野】 耳鼻いんこう科、気管食道科
【メッセージ】

令和2年4月に赴任いたしました。難聴や嚥下（えんげ）障害の診断治療をはじめ、耳鼻咽喉科医としての経験を活かしながら、地域の方々の健康維持に努めてまいります。
よろしくお願いたします。

内科



小野 正博 (おの まさひろ)

【職名】 副院長
【専門分野】 内科
【メッセージ】

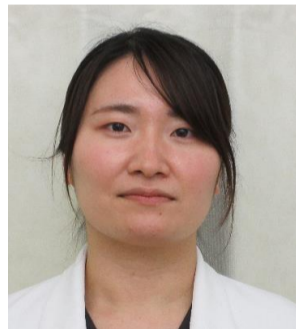
令和3年4月に赴任いたしました。会津の地域医療に貢献できるよう、また、その担い手を育成できるよう頑張る所存です。何卒宜しくお願致します。



押部 郁朗 (おしべ いくろう)

【職名】 科長
【専門分野】 在宅医療、地域医療
【メッセージ】

令和6年4月より着任しました押部郁朗と申します。福島県立医科大学を卒業し、福島県立医科大学大学院と福島大学大学院を修了しました。以前は外科医でしたが今は在宅医療と地域医療が専門分野です。地域のみなさまのお役にたてるよう頑張っております。



渡辺 綾 (わたなべ あや)

【職名】 医長
【専門分野】 内科一般
【メッセージ】

令和5年4月に赴任しました、渡辺綾と申します。自治医科大学を卒業し、今年で医師8年目となります。昨年までは総合内科として発熱など原因不明の症状や感染症の診療をしていました。宮下病院でも地域の皆さんのお力になれるよう、診療したいと考えておりますので、よろしくお願致します。



秦 慧 (はた さとし)

【職名】 医長
【専門分野】 腎臓内科・内科一般
【メッセージ】

令和6年4月より赴任致しました。
地域の皆様に寄り添いながら医療を行っていければと思います。
どうぞ宜しくお願致します。

内 科



高橋 平安彦 (たかはし やすひこ)

【職 名】 医員

【専門分野】 内科一般

【メッセージ】

はじめまして。令和6年1月より赴任しました。まだ医師としては駆け出しですが、地域の皆さんのお役に立てるように精一杯頑張ります。

よろしくお願いいたします。

外 科



佐竹 賢仰 (さたけ まさたか)

【職 名】 科部長

【専門分野】 一般・消化器外科

【メッセージ】

専門は外科ですが、宮下病院では主に内視鏡や超音波検査を担当させていただいております。その他、訪問診療をはじめ地域に必要な医療に精一杯取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

(部局紹介：非常勤医師)

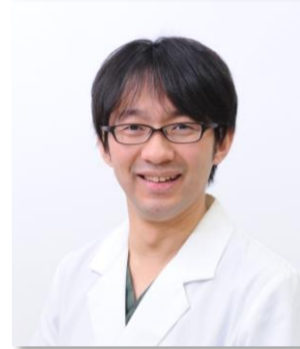
内科



長谷川 浩司 (はせがわ こうじ)

【職 名】 福島県立医科大学会津医療センター
糖尿病・代謝・腎臓内科学講座 講師

【専門分野】 糖尿病診察
特に特殊な病態における糖尿病治療



星野 弘尊 (ほしの ひろたか)

【職 名】 福島県立医科大学会津医療センター
循環器内科学講座 助手

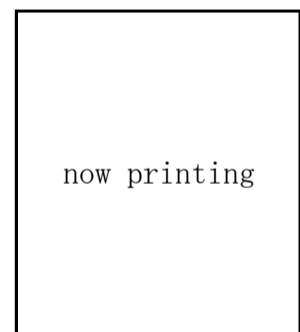
【専門分野】 循環器内科



菅井 義尚 (すがい よしなお)

【職 名】 福島県立医科大学会津医療センター
循環器内科学講座 講師

【専門分野】 循環器内科



遠藤 俊吾 (えんどう しゅんご)

【職 名】 福島県立医科大学会津医療センター
小腸・大腸・肛門科学講座 教授

【専門分野】 消化器外科、大腸肛門病外科、内視鏡外科、
大腸内視鏡、大腸癌化学療法



小河原 峻 (おがわら りょう)

【職 名】 福島県立医科大学病院
循環器内科 助手

【専門分野】 循環器内科

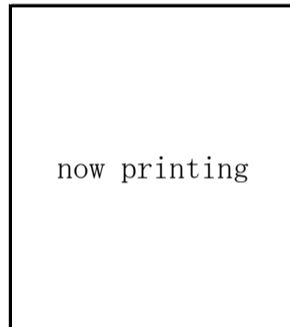
(部局紹介：非常勤医師)

整形外科



岩渕 真澄 (いわぶち ますみ)
【職 名】 福島県立医科大学会津医療センター
整形外科・脊椎外科学講座 教授

【専門分野】 脊椎・脊椎外科／脊椎画像診断



中村 凌雅 (なかむら りょうが)
【職 名】 福島県立医科大学会津医療センター
整形外科・脊椎外科学講座 助手

【専門分野】 一般整形外科

皮膚科

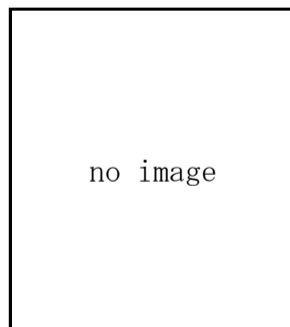


鈴木 重行 (すずき しげゆき)

【職 名】 福島県立医科大学会津医療センター
臨床医学部門皮膚科 特別研究員

【専門分野】 免疫・アレルギー性皮膚疾患

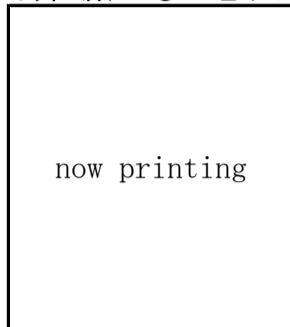
外 科



福島県立医科大学外科医師
※月ごとに変更

(部局紹介：非常勤医師)

精神科（心身医療・もの忘れ外来）



羽金 裕也（はがね ゆうや）

【職名】 福島県立医科大学会津医療センター
精神医学講座 助手

【専門分野】 精神医学一般



西郷 佳世（さいごう かよ）

【職名】 竹田総合病院
精神科 科長

【専門分野】 精神医学一般、精神療法



錫谷 研（すずたに けん）

【職名】 福島県立医科大学会津医療センター
精神医学講座 助手

【専門分野】 精神医学一般

(部局紹介：外来・病棟・薬剤部)

【外来から】

医療圏の高齢化率が47～61%である当院では、高齢の患者様が多く、検査の説明においても、きめ細やかな対応が求められます。安全な医療・看護を提供できるようチームワークを良好に、常に「目配り・気配り・心配り」をモットーに努力しております。

主な業務として、内科、外科、整形外科、耳鼻いんこう科、精神科（心身医療・もの忘れ外来）、皮膚科の診療介助や胃・大腸等の内視鏡の検査介助などを行っております。

また、生活習慣病の早期発見、早期治療を目的とした健康診断等の受け入れや継続看護の一環となる訪問看護を行うなど、地域医療に積極的に取り組んでいます。

病気や介護に関する相談も随時受け付けておりますので、お気軽に御相談下さい。

【病棟から】

内科の患者様を中心とした病棟です。患者様・ご家族の皆様との信頼関係を大切に、安全・安楽に入院生活を過ごしていただけるように、スタッフ一同、笑顔と思いやりを持って看護援助を行っています。

看護方式は、受け持ちとなった看護師が入院から退院まで責任をもって担当する体制をとっていますが、看護師はチームに所属しており、担当看護師が不在の時にはチーム員が中心になって看護をサポートすることとしています。チーム内では患者様に関する情報交換や看護評価を行い、日頃の看護業務に役立てています。

また、平日は毎日、医師・看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士が集まり、患者様の医学的状態、患者様を取り巻く様々な状況、適切な援助方法、今後の治療方針について話し合っ情報共有を図り、それぞれのスタッフが連携し、円滑に業務を進められるよう努めています。

【薬局から】

外来患者様のお薬については、原則として院外処方箋で対応いたします。

現在、薬剤部では入院患者様の薬剤管理を主に行っております。

入院中の患者様に処方されたお薬の服用方法・効能・効果について説明したり、副作用の予防、重複投与の防止に努め、病気の治療に役立てたいと考えています。

このような業務を通じて薬剤部では、患者様とふれあい、健康管理のお役に立てるよう頑張りたいと考えております。お薬に関して不安に思っていること、悩んでいることなどがあれば、入院中に限らず、お気軽に声をおかけください。



病棟ナースステーションの風景



機能訓練室 リハビリの様子

(部局紹介：検査・放射線・栄養管理・リハビリ)

【検査室から】

検査室では、患者様から採取された血液・尿等の検体検査、および心電図、呼吸機能等の生理検査を行っています。内部、外部の精度管理を行い、精度の維持、向上に努めています。また、現在は生理機能検査システムが導入されており、心電図、呼吸機能等生理機能検査の結果について、外来・病棟端末にて確認できるようになっております。他にも、生化学自動分析装置、自動血球計数装置、血液ガス分析装置等で血液検体を用いて肝機能、腎機能、脂質検査、貧血検査、血液酸塩基平衡等について検査しています。

検査について疑問に思うこと、不安な点などがありましたら、遠慮なくご相談ください。

【放射線室から】

放射線科では、患者様、特に高齢者の心理や行動に配慮しつつ検査をすすめています。医師、看護師等少人数のスタッフが最大限の力を発揮できるよう、検査機器、医療機能の充実を目指し、検査技術の進歩に遅れることなく、常に画像診断の質の向上を心がけています。主な業務としては、一般撮影(胸部、腹部、骨系)、透視検査、CT検査を行っています。

放射線検査に関してご不明な点や説明が不十分な場合がございます。いつでもお問い合わせください。

【栄養管理室から】

病院食は医療の一環として行われるもので、患者様個々の病態に応じた栄養基準に基づいて調整され、病気の治癒改善を促進することを目的としています。また、栄養面だけでなく、患者様の嗜好、食習慣等を考慮し、おいしく食べていただける食事づくりに日々努めております。

当院では、入院・外来患者様を対象に、糖尿病・高血圧症・高コレステロール血症などの生活習慣病や摂食障害など、患者様の状況に応じた個別の食事・栄養指導を行っています。ご要望がありましたら、いつでもお問い合わせください。

【リハビリ室から】

当院では理学療法士が急性期(病気・ケガ発症から1ヵ月程度、手術後)から維持期(発症後1年以上経過)まで、患者様の身体状況や生活環境に配慮して機能訓練を行い、早期退院や生活復帰を支援します。また、遠方の病院でのリハビリ通院が大変な時などは、いつでもお問い合わせください。

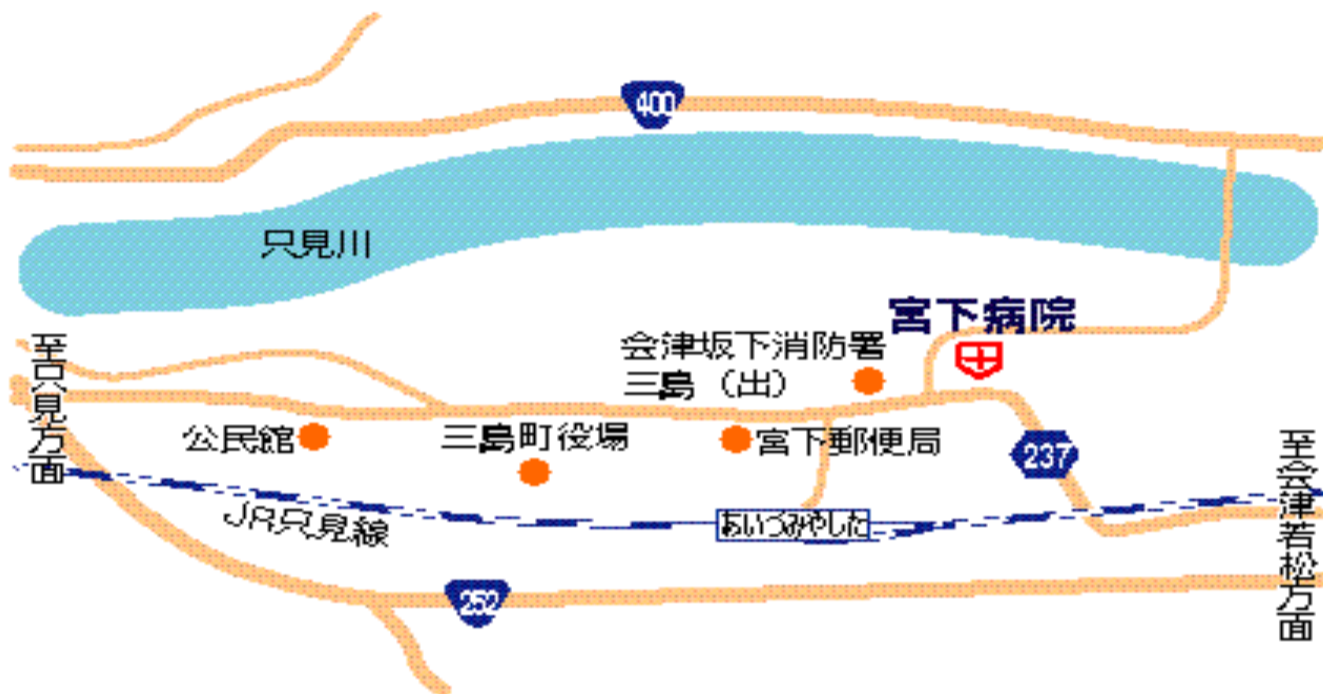
その他、歩行器具の選び方、運動に関することや生活習慣病予防の運動など、疑問や質問がございましたらいつでもお問い合わせください。

(交通・院内のご案内)

■ 交通のご案内

J R 只見線：会津宮下駅より徒歩 5 分

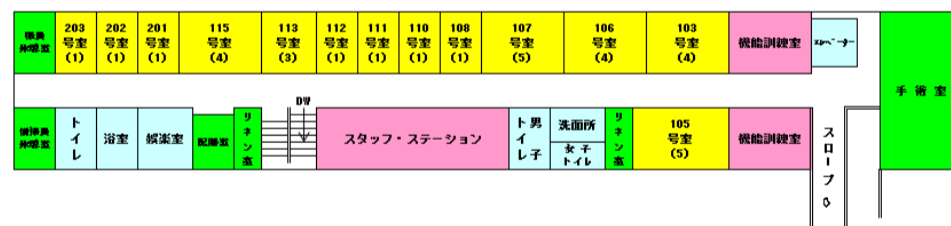
磐越自動車道：会津坂下 I C ~ 国道 2 5 2 号 自動車で 2 5 分



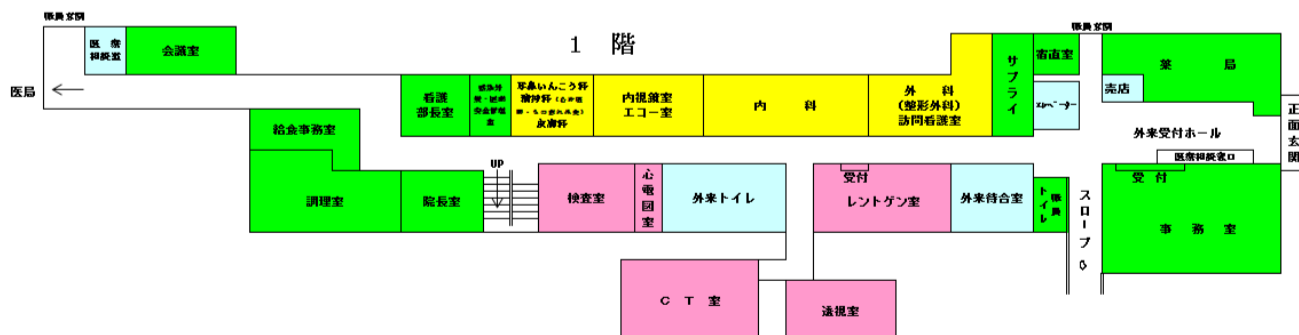
■ 院内案内図

宮下病院 院内案内図

2 階

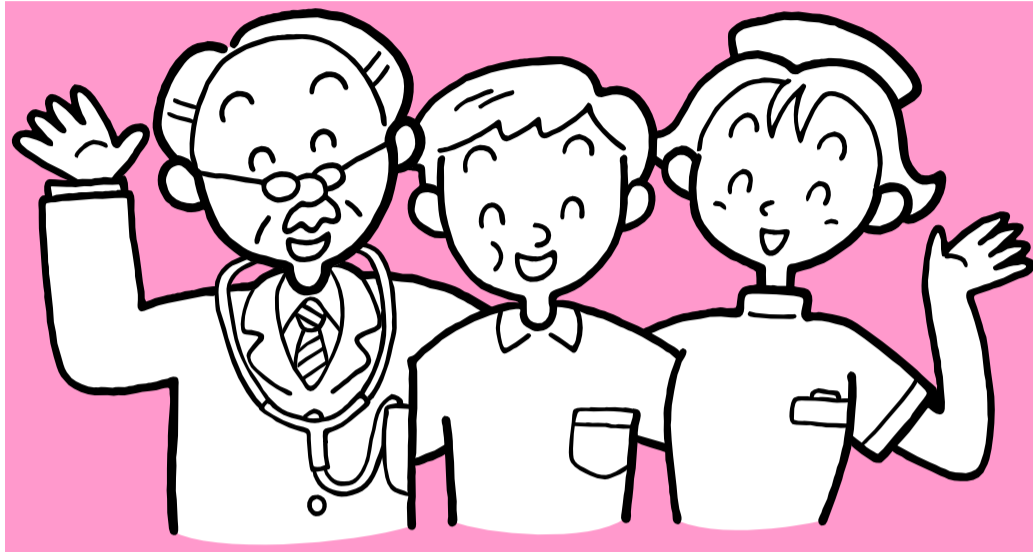


1 階



(病院の沿革)

年 月	沿 革
昭和26年11月	病院開設 一般病床24床 *診療科目: 内科・外科・産婦人科
昭和27年6月	病棟増築 9床増床(33床)
昭和28年11月	伝染病隔離病舎併設 13床増床、一般病床4床増床(合計50床)
昭和32年11月	病棟増築 8床増床(58床)
昭和33年6月	病室改造 2床減少(56床)
昭和35年9月	病床区分変更 一般23床、結核20床、伝染13床(合計56床)
昭和39年5月	病室改造 3床減少(53床)
昭和39年7月	眼科診療開始
昭和44年12月	病院庁舎新築移転 一般45床、結核10床、伝染10床(合計65床) *診療科目: 内科、外科、産婦人科、眼科
昭和45年7月	産婦人科休診
昭和45年7月	整形外科診察開始
昭和48年	整形外科休診
昭和54年2月	眼科休診
昭和56年4月	病床の変更(結核10床を一般病床に変更) 一般55床、伝染10床(合計65床)
平成元年9月	伝染病床10床廃止(合計 一般55床)
平成5年7月	整形外科診療再開
平成6年11月	神経精神科診療開始
平成8年10月	耳鼻いんこう科診療開始
平成13年4月	診療圏内のへき地診療所への診療応援開始
平成14年2月	(財)日本医療機能評価機構の認定(一般病院A)取得
平成16年4月	地方公営企業法の全部適用
平成16年6月	「へき地医療拠点病院」に指定
平成19年2月	(財)日本医療機能評価機構の再認定(Ver.5.0)取得
平成19年5月	皮膚科診療開始
平成19年6月	患者送迎バス運行開始
平成21年4月	一般病床32床(一般23床削減)
平成22年1月	「救急協力病院」に認定
平成25年2月	(財)日本医療機能評価機構の再認定(Ver.6.0)取得 整形外科、神経精神科を隔週診療から毎週診療へ変更、外科休診
平成25年11月	精神科の院内呼称「心身医療・もの忘れ外来」開始
平成25年6月	リハビリ室オープン
平成27年4月	外科再開 耳鼻いんこう科を毎週診療へ変更
平成28年3月	耐震改修工事竣工
平成29年2月	(公財)日本医療機能評価機構の再認定(3rdG:Ver.1.1)取得
平成29年4月	在宅療養生活支援外来「愛ばんしょ外来」開設
平成30年11月	介護保険による訪問看護事業を開始
令和2年7月	新型コロナウイルス感染症への対策として「仮設陰圧ハウス」を設置
令和2年10月	「発熱外来」を設け、新型コロナウイルスの抗原検査、PCR検査を実施
令和3年12月	(公財)日本医療機能評価機構の再認定(3rdG:Ver.2.0)取得
令和6年4月	奥会津在宅医療センターが宮下病院へ移管



患者の皆様への権利に関する県立宮下病院宣言

県立宮下病院では、医療行為が患者の皆様と医療関係者との信頼関係の上に成り立つものであり、医療の中心は患者の皆様であることを深く認識し、患者の皆様には次のような権利があることを改めて確認します。

- 1 皆様は、個人として常にその人格を尊重される権利を有します。
- 2 皆様は、良質な医療を平等に受ける権利を有します。
- 3 皆様は、診療内容、治療方針とその危険性や副作用などについて、十分な説明を受ける権利を有します。（ただし、必要に応じて主治医の判断により、ご家族や代理の方にお話しする場合があります。）
- 4 皆様は、診療行為に対して十分な説明を受けて、ご自身の意思により同意または拒否する権利を有します。また、他の医療機関への転院などについて、ご自身の希望を述べる権利を有します。
- 5 皆様は、現在の治療内容について、他の医師の意見を求める権利を有します。
- 6 皆様は、プライバシーを尊重され、皆様の健康状態や診療内容の秘密が守られる権利を有します。

● 医療機能評価

当院は、公益財団法人日本医療機能評価機構の審査を受け、同機構が定める基準に達していることが認められ、令和3年12月に3rdG:Ver. 2.0の認定を受けました。

（前回3rdG:Ver. 1.1認定は平成29年2月）